

Title	本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 67 P.76-P.77
Issue Date	2020-04-20
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/75584
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）

第297回 4月27日（土）

記紀に描かれた兄弟

―末子成功譚について―

川上莉奈

『徒然草』に描かれた「入道」について

徐 永林

賢木巻・野宮のわかれ再考

後藤 京

第300回記念イベント
▼テーマ：院生時代とキャリア形成を振り返る

○奈良大学

松本 大

○就実大学

瓦井裕子

○天理大学附属天理図書館

宮川真弥

―

第298回 6月15日（土）

『うつほ物語』における賜姓源氏について

中村麻耶

藤原行成和歌不得手に関する文章の考察

―『枕草子』『職の御曹司の西面の立部のもとにて』段における〈歌〉を〈うたふ〉という表現について―

中山紗恵

『蜻蛉日記』上巻の長歌の考察

福山美都

第299回 7月27日（土）

異類婚姻譚における『木幡狐』

―和歌素材としての異類とお伽草子―

大野暖奈

『文集百首』における定家の詠歌方法について

―句題の一部の文字を和歌に詠まない場合に注目して―

黄 夢鶴

貫之集における「すれる衣」の側面

蒲 姣艶

第300回 9月21日（土）
光源氏論

―その「心長さ」の両義性をめぐって―

後藤 京

深川本狭衣物語（巻一）から本文研究を見つめなおす

小林理正

第301回 10月26日（土）

『万葉集』巻二・一四七番歌の解釈史―近世から現代まで―

古今集撰者時代における「六月祓」の一考察

川上莉奈

藤原為家の「越」字用法

蒲 姣艶

接続助詞「ものを」による複文化の過程について

百瀬みのり

第302回 11月23日（土）

石村小春

―

―

―

―

―

―

―

―

―

―

―

―

―

第303回 12月22日（土）

伝藤原家隆筆大六半切『古今和歌集』について 寺田 伝
陽明文庫本源氏物語の表現世界とその撰取歌 瓦井裕子

第304回 2月15日（土）

「荒れたる宿」表現の虚構性―平安時代前期の和歌を中心に―

百井 花

天稚御子降下条のヴァリエーション

小林理正

―鎌倉写本の狭衣物語本文小考―

第305回 3月28日（土）

大江斉光考 後藤 京

『源氏物語詞散』の紹介

松本 大

―詞としての『源氏物語』享受の一端―